

定例記者会見 令和7年3月7日（金） 11時～	
場 所 庁議室	
事 務 担 当 課	
所 属	職・氏 名
建設部 建設整備課 (電話059-229-3184)	建設整備課長 水谷 誠
危機管理部 防災室 (電話059-229-3104)	防災室長 山口 敬正
香良洲総合支所 地域振興課 (電話059-292-4308)	産業振興・環境担当副参事 前川 英司

香良洲高台防災公園が完成！
市民の憩いの場と地域住民の安全を確保

このことについて、その内容は、別添資料のとおりです。

香良洲高台防災公園が完成！

市民の憩いの場と地域住民の安全を確保



令和7年3月7日

香良洲地域の津波避難の課題

- ・ 香良洲地域は、周囲を伊勢湾と一級河川雲出川及び雲出古川に囲まれた三角州地帯
- ・ 多くが海拔2m以下であるため、巨大地震の大津波では全域に浸水の恐れがある

✓ 高茶屋方面への避難が原則

香良洲総合支所 → JR紀勢本線西側高台
約 4 km

- ✓ 高茶屋方面へ避難する時間が無いときは
近くの**津波避難ビル**へ一時避難

これまでの課題

- ・ 津波避難ビルの収容人数が限られていた
→ 収容人数を増やす必要がある
- ・ 南部に津波避難ビルが集中し、北部地域の避難場所がなかった
→ 北部地域に避難場所を確保する必要がある

香良洲地区人口
4,235人 (R7.2)



香良洲地域の 津波避難ビル

- ① 香良洲庁舎
- ② 香良洲歴史資料館
- ③ 川口ポンプ場
- ④ 掘割ポンプ場
- ⑤ 香良洲小学校
- ⑥ 香海中学校
- ⑦ まつぼっくり作業所

収容人数
合計
3,000人

香良洲高台防災公園整備事業の概要

事業開始までの経緯

平成20年度 中勢バイパス整備に伴う排出土仮置き
平成24年4月 地元自治会から「高台の造成」の要望
平成25年3月 基本構想を発表
平成29年8月 公園として都市計画決定
計画面積約9.20ha（地区公園）

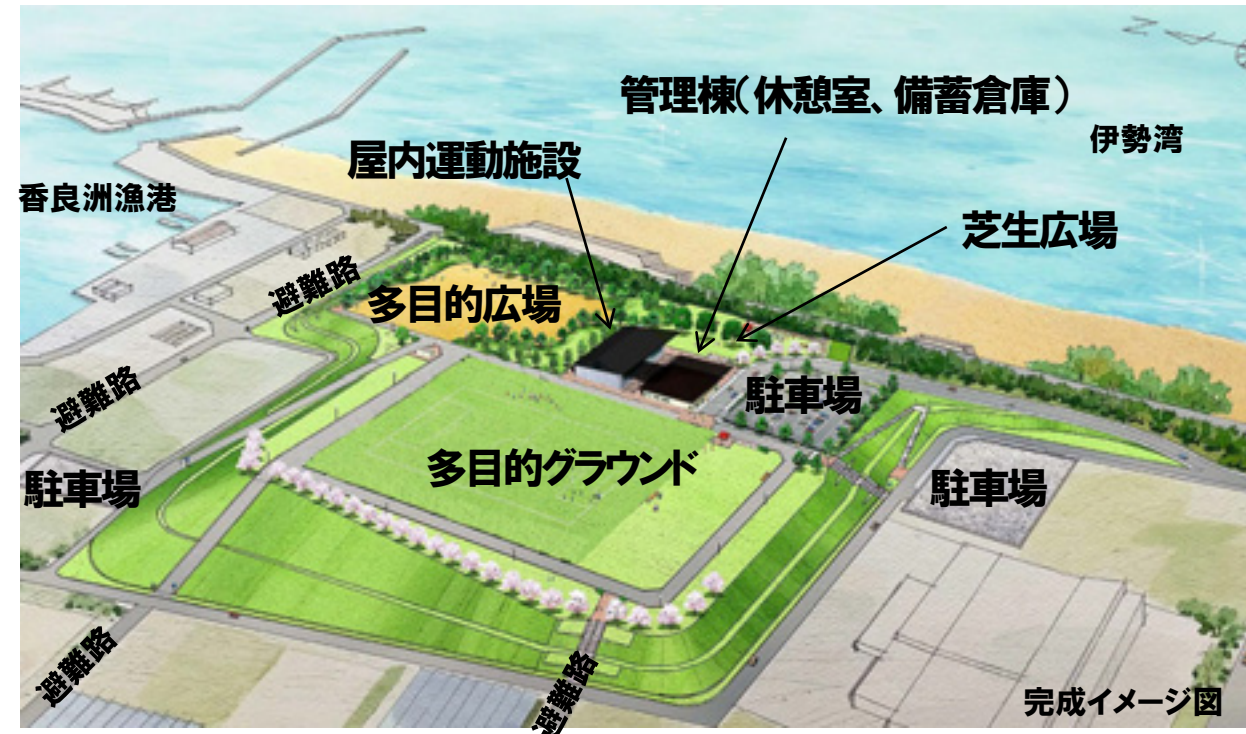
■ 公共事業の排出土を有効利用して高台を造成

国、県工事の河川しゅんせつ、道路建設で発生した盛土に適した良質な土砂75万m³を活用

国	中勢バイパス、雲出川など	51万m ³
県	安濃川、穴倉川、榊原川など	21万m ³
市	近接工事など	3万m ³

■ 平常時は公園、津波災害時は一時避難場所として活用できる高台防災公園を整備

■ 総事業費 約26億円



断面イメージ図



都市公園整備事業

概要

都市計画決定
事業認可期間
財源

平成29年8月3日
平成29年度～令和6年度(8箇年)
国土交通省都市局 公園緑地等事業
(防災・安全交付金)

全体事業費
財源内訳

22億7,962万円(※見込み)
国交付金 9億9,312万円
起 債 8億9,980万円
一般財源 3億8,670万円

主な工事内容

- 排水路工事
延長1,197m
- 公園工事
側溝工、管渠工、階段工、
コンクリートブロック工、植生工、
アスファルト舗装工、柵工、便所工など
- 建築工事
管理棟、屋内運動施設

事業工程

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
盛土	土砂搬入・盛土(国・県)							
排水路工事		設計		排水路工事				
公園工事			設計	公園工事				
建築工事					設計	建築工事	一時避難場所として利用可能に	
事業費(千円)	※H26～28を含む 41,208	74,586	45,366	415,116	424,779	789,171	212,122	※見込み 277,280

公園への避難路整備事業

- 津波災害時を想定し、短時間で多くの人の避難が可能となるよう公園への進入路は複数整備
- 公園の周辺から進入路へのアクセス道路も避難路として整備



公園施設平面図(平常時利用)

令和7年
4月1日(火)
供用開始!



- 伊勢湾を一望できる公園
- 市民の憩いの場として利用

開園時間

午前9時～午後5時

休園日

年末年始
(12月29日～1月3日)

- 駐車場
- お手洗
- 水飲み場
- 休憩所
- 車いす使用者用駐車区画
- AED

主な公園施設(平常時利用)

	施設名	規模	利用用途	平常時の利用例
屋外施設	多目的グラウンド	面積1.94ha	様々なスポーツに使える天然芝のグラウンド	- グラウンド周囲の園路はウォーキングやランニングに - 芝生広場は小さなお子様が遊べるピクニック広場として - ふれあいのかおりや体育祭など地域の憩いの場として
	多目的広場	面積0.75ha	様々な遊びに使える広場	
	芝生広場	面積0.33ha	伊勢湾を望む芝生広場	
屋内運動施設		建築面積1,137㎡	軽運動ができる屋内運動施設	- 卓球やカローリングなどのニュースポーツの競技体験 - 地域の防災訓練や水防訓練などの訓練場所として
管理棟		建築面積657㎡	管理人が常駐休憩室を備えた管理棟	公園利用者の休憩や会議場所・救護室として
駐車場		面積0.29ha 駐車台数105台	おもいやり駐車場有り(4台) ※市道沿いにも駐車場有り(145台)	

災害時の利用想定①



かまどスツール



使用イメージ

トイレスツール



使用イメージ

※使用方法を解説した説明板を設置しています。

災害時の駐車可能台数 最大 1,185 台

- ・駐車場 105台
- ・多目的広場 約200台
- ・多目的グラウンド 約880台

災害時の利用想定②

多目的グラウンド	ヘリコプター臨時離着陸場 避難・救護活動スペース
多目的広場	車中泊のできる自動車避難スペース
芝生広場	屋外避難が可能な避難者の屋外テントスペース
駐車場	駐車場のほか多様な活動に使用が可能
管理棟(防災倉庫)	避難者の救護・避難場所 災害用物資保管場所(屋内)
屋内運動施設	避難者の救護・避難場所
かまどスツール(5基)	炊き出し用かまど
トイレスツール(5基)	トイレ(760ℓ/基)
耐震性防火水槽(60m ³)	生活用水(※ポンプで汲み出し使用が可能)

災害時の利用想定③

◆ 屋内運動施設



平面図
(建築面積1,137m²)



■ 断水時

トイレ

防火水槽の水を使用することで使用可

飲料水

受水槽 (6m³) の水を飲用可

■ 停電時

自家発電機により
屋内運動施設・管理棟ともに
72時間電気の供給が可能

使用可能なもの

管理棟

空調設備

一部の電気とコンセント

屋内運動施設

一部の電気とコンセント

災害時の利用想定④

◆ 管理棟



地震解錠ボックス

- 震度5弱程度の揺れを感知して自動解錠
- ボックスの中には管理棟の鍵が格納
- 公園周りのフェンス(門扉)にも設置

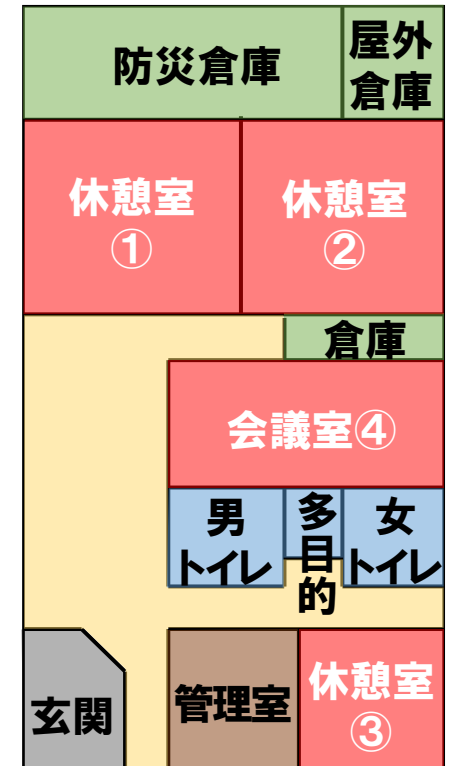


防災倉庫

防災倉庫の備蓄品

- 毛布などの「生活必需品」
- 簡易トイレなどの「トイレ関係用品」
- 照明・ガス発電機などの「避難所運営資機材」
- 飲料水や乾パン・アルファ米などの「食料」
- 2日分(800人)の食料

平面図 (建築面積657㎡)



避難想定スペース
①②③④合計227㎡

最大収容人数
227人

香良洲高台防災公園竣工式

開催日時	令和7年3月30日(日) 午前10時～	
開催場所	香良洲高台防災公園 多目的グラウンド (屋内運動施設・管理棟前) 津市香良洲町5380 ※雨天時は屋内運動施設で行います	
内容	来賓祝辞、テープカット、炊き出し体験 ※竣工式終了後、館内を見て頂くことが可能です	
主催	津市 香良洲高台防災公園整備等に関する協議会	

問い合わせ

担当部署	電話
◆ 公園整備に関すること 建設部 建設整備課 公園整備担当	059-229-3184
◆ 防災計画に関すること 危機管理部 防災室 災害対策担当	059-229-3104
◆ 公園の利用に関すること 香良洲総合支所 地域振興課 産業・振興担当	059-292-4308



定例記者会見 令和7年3月7日（金） 11時～	
場 所 庁議室	
事 務 担 当 課	
所 属	職・氏 名
建設部 建設政策課 (電話059-229-3194)	建設政策課長 杉崎 雅人

津興橋の
建設工事現場見学会を開催

このことについて、その内容は、別添資料のとおりです。

津興橋の 建設工事現場見学会を開催



完成イメージ図

令和7年3月7日

津興橋の架け替えまでの経緯

岩田川に架かる津興橋は
1日あたり約16,600台の交通量を
有する市内有数の重要な橋

架け替え工事前の津興橋 ▶



昭和36(1961)年

昭和5(1930)年に架設された鉄道橋をそのまま転用し道路として供用を開始

平成26年8月

詳細な点検・調査を実施した結果、主構造の損傷が著しいことが判明

平成27年11月

架け替える方針を決定

平成28年4月

大規模修繕・更新補助制度(平成27年度創設)の東海地方の更新事業第1号として採択
令和8年度の事業完了を目標に事業開始

津興橋架け替え工事の内容・事業費

年度	内容	事業費	備考
平成27年度	橋梁予備設計	1,971万円	
平成28年度	橋梁設計・用地補償調査	5,864万円	大規模修繕・更新補助制度
平成29年度	用地買収	1億1,383万円	
平成30年度	仮橋設置工事	2億6,285万円	
令和元年度	仮橋設置工事	4億5,878万円	
令和2年度	仮橋設置工事・旧橋撤去工事	6億4,463万円	道路メンテナンス事業補助
令和3年度	旧橋撤去工事・下部工工事(橋台)	6億5,816万円	
令和4年度	旧橋撤去工事・下部工工事(橋脚)	5億8,045万円	
令和5年度	旧橋撤去工事・下部工工事(橋台・橋脚)	8億7,926万円	
令和6年度	下部工工事(橋台・橋脚)・上部工製作架設工事	7億7,146万円	
令和7年度	橋梁上部工事・橋梁前後道路工事 一部供用開始(車道、上流部片側歩道)	3億7,080万円	※当初予算計上額
うち平成27年度から令和6年度末までの支出総額		44億4,777万円	

現在の津興橋架け替え工事の状況



- 橋梁の構造等が最も分かりやすい
- 工事完成後では見ることのできない構造を間近に見ることができる
- 地震に強い強固な橋梁の築造状況(スケールの大きさ)を感じられる

建設工事現場見学会の開催を決定

建設工事現場見学会の概要

開催日	令和7年3月21日(金)		
時間	グループ① 午前10時00分から午前10時40分まで グループ② 午前10時50分から午前11時30分まで		
募集人員	40名程度(各グループ20名程度)【事前申込制】		
目 的	普段見ることのできない建設工事現場の見学を通して、事業の目的・効果と工事施工を担っている建設業の役割を市民の皆様に理解していただく		
対象者	津市在住の方		
申込方法	●津市ホームページ又は市本庁舎・各総合支所で配布する チラシ表面の2次元コードや申込書で建設政策課へお申し 込みください(受付期間内必着) ●応募人数が募集人員に達した場合は募集を締め切ります		
受付期間	令和7年3月7日(金)～令和7年3月14日(金)		
報道関係者	午前10時から午前11時30分までの間、取材が可能です ※取材を希望される場合は、建設政策課へ前日までにご連絡ください		

問い合わせ



建設部建設政策課

〒514-8611 津市西丸之内23番1号

TEL :059-229-3194

FAX :059-229-3345

E-Mail:229-3196@city.tsu.lg.jp